

平成 27 年 2 月 12 日

各 位

会社名 ローヤル電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 和義
 (コード番号 6 5 9 3)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員管理本部長 鮫島 弘一
 電話 0 3 - 5 4 2 4 - 1 8 6 0

当社の親会社名 株式会社小田原エンジニアリング
 代表者名 代表取締役社長 宮脇 伸郎
 (コード番号 6 1 4 9)

営業外損益の発生及び平成 26 年 12 月業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 8 月 8 日に公表いたしました特別損失の発生及び平成 26 年 12 月期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外損益の発生及びその内容

連結子会社の財政状態等を勘案し、個別業績において、営業外収益として関係会社事業損失引当金戻入額 3 億 7 千 6 百万円を計上し営業外費用として貸倒引当金繰入額 8 億 4 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）業績予想と実績の差異

(1) 連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100	△80	△125	△140	△33 30
実績値 (B)	4,817	△288	△303	△396	△94 39
増減額 (B)－(A)	△282	△208	△178	△256	
増減率 (%)	△5.5	—	—	—	

(2) 個別業績予想と実績の差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	110	△90	△21 41
実績値(B)	3,807	△354	△418	△99 58
増減額 (B)－(A)	207	△464	△328	
増減率 (%)	5.8	—	—	

(注) 平成 25 年 12 月期は 3 月決算から 12 月決算に決算期の変更をしたことに伴い 9 ヶ月間の変則決算となっておりますので、前期の実績は記載していません。

3. 業績予想と実績の間に差異が生じた理由

(連結)

当連結会計期間の売上高につきましては、電子関連機器向けの引合が継続している中、HEV・EV関連機器が下半期より動き出したものの、今期売上には寄与しなかったこと、また大型案件の売上が翌期に伸びたこと等により前回発表予想を下回ることとなりました。また、損益につきましては、自動巻線機事業の新規開発案件の開発コスト増加等により営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回発表予想を下回ることとなりました。

(個別)

当会計期間の業績は、景気の回復基調及び消費税増税前の駆け込み需要等により売上高は、前回発表予想を上回ることとなりました。損益については、円安による海外からの輸入材料の高騰に加え、「1. 営業外損益の発生及びその内容」に記載のとおり、関係会社事業損失引当金戻入額、貸倒引当金繰入額を計上することとしたため、前回発表予想を下回ることとなりました。

以 上